



報道関係者各位

2026年5月29日
宮城県仙台市
株式会社マーケットエンタープライズ

【5月30日はごみゼロの日】 人口100万人超の仙台市が 不要品リユース事業で「おいくら」と連携を開始 ～リユース新施策導入による廃棄物削減へ～

宮城県仙台市(市長:郡 和子)と株式会社マーケットエンタープライズ(東京都中央区、代表取締役社長:小林 泰士、東証スタンダード・証券コード3135、以下「マーケットエンタープライズ」)は、5月30日の「ごみゼロの日」を前に、地域社会における課題解決を目的としたリユース事業に関する協定を締結し、2026年5月29日(金)より連携をスタートいたします。マーケットエンタープライズが運営するリユースプラットフォーム「おいくら」を用いて、不要品を捨てずに再利用する仕組みを構築し、仙台市の廃棄物削減と循環型社会の形成を目指します。



■背景・経緯

仙台市では、リサイクルプラザでの衣類・本・雑貨や家具・家電製品の回収・提供、不要品交換情報の提供、また、ホームページ上での民間リユースサービスの紹介など、SDGs 達成に向けた取組を行なってまいりました。しかしながら、ごみ処理費用の負担増加に加え、高齢化に伴い粗大ごみの搬出が困難な市民が増えていることや、ごみとして排出された不要品の中にリユース可能なものが多く含まれていることを課題と感じており、リユース活動の周知・啓発につながる新施策の導入を検討しておりました。他方、マーケットエンタープライズは、リユース事業を中心にネット型事業を展開し、これまで、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」への参画や、「楽器寄附ふるさと納税」実行委員会の一員として活動を続けるなど、官民の垣根を超えた SDGs への取組に注力してまいりました。

そうした中で、マーケットエンタープライズが仙台市に働きかけ、「リユース活動促進による循環型社会の形成を目指したい」という互いのニーズが合致したため、「おいくら」※1 を用いた今回の取組が実現いたしました。

※1「おいくら」とは

おいくらは、マーケットエンタープライズが展開する、リユースプラットフォームです。不要品を売りたい方が「おいくら」を通して査定依頼をすると、全国の加盟リユースショップに一括査定依頼され、買取価格・日時・買取方法・口コミなどを見て比較することができます。一度の依頼だけで不要品の査定結果をまとめて比較し、売却できる手軽さが好評で、これまでおよそ 168 万人(2026 年 2 月末日時点)の方にご利用いただいております。

ウェブサイト:<https://oikura.jp/>

■仙台市の課題と「おいくら」による解決策

仙台市では、事前申請による戸別収集または処理施設への自己搬入にて粗大ごみの有料回収を行なっておりますが、大型品や重量のあるものでも、原則市民が自宅の外へ運び出す必要があります。「おいくら」は、希望すれば自宅の中まで訪問し、運び出しまで対応する出張買取が可能で、大型品や重量のあるものでも売却が容易にできるようになります。加えて、冷蔵庫や洗濯機などの家電リサイクル法対象製品も、まだ使えるものであれば買取できる可能性があります。「おいくら」を通じて買取を依頼すれば、最短で当日の不要品売却・受け渡しが可能となります。なお、市民のサービス利用はもちろん、市の費用負担もありません。

■今後について

5 月 29 日(金)15 時 30 分(公開時間が前後する可能性があります)に仙台市ホームページ内

(<https://www.city.sendai.jp/haiki-kanri/kurashi/machi/genryo/gomi/wakekata/sodaigomi.html>)へ「おいくら」の情報が掲載され、直接不要品の一括査定申し込みが可能になります。仙台市と「おいくら」の連携により、二次流通の更なる活性化による循環型社会の実現や社会全体での不要品削減が見込まれると共に、自治体の廃棄物処理量や処理コスト削減にもつながります。また、本取組により、売却という手軽なリユース手段が市民に認知されれば、「廃棄ではなくリユースする」という選択肢が増え、多様化する不要品処分ニーズに応えることができます。加えて、市民のリユースへの意識変化、循環型社会形成の促進につながります。この官民一体の取組により、循環型社会の形成に向けた社会的・経済的側面の双方の課題解決を目指してまいります。

■宮城県仙台市

仙台市は、宮城県の中央部に位置する県庁所在地であり、東北地方唯一の政令指定都市です。西に奥羽山脈、東に太平洋をのぞむ広大な市域を有し、都心を流れる広瀬川や豊かな街路樹などの景観から「杜の都」の名で親しまれています。東北地方にありながら降雪量が比較的少なく、年間を通じて温和で過ごしやすい土地です。歴史的には、1600 年に伊達政宗公が仙台城を築城したことに始まり、城下町として発展を遂げました。現代においても、東北の新幹線・高速道路・港湾が結集する広域交通の要衝であり、東北大学をはじめとする多数の大学が集積する「学都」としての側面も併せ持っています。2011 年の東日本大震災からの復興を経て、現在は「防災環境都市」として、その知見を世界に発信する役割も担っています。東北地方の政治・経済・文化を牽引し、伝統と最先端の都市機能、豊かな自然が調和する都市として発展を続けています。

人口:1,062,956 人(男性 513,234 人、女性 549,722 人)(2026 年 5 月 1 日)※2

世帯数:558,640 世帯(2026 年 5 月 1 日)※2

面積:786.38 平方キロメートル(2026 年 5 月 1 日)

ウェブサイト:<https://www.city.sendai.jp/>

※2 住民基本台帳に基づく人口・世帯数

■株式会社マーケットエンタープライズ

マーケットエンタープライズは、ネット型リユース事業を中心に、モバイル通信事業や情報メディアの運営など複数の事業を展開し、「持続可能な社会を実現する最適化商社」をビジョンに掲げ、2006年の設立以来、成長を続けています。2015年6月には東証マザーズに上場し、現在はスタンダード市場に上場しております。ネット型リユース事業では、「高く売れるドットコム」のほか、リユースプラットフォーム「おいくら」や、80か国以上への中古農機具の輸出などで事業拡大を続けており、ネット型リユース事業のサービス利用者は延べ940万人を達成しました。仙台市の「おいくら」サービス導入により、導入自治体は全国で329にのぼります。

「おいくら」自治体向け ウェブサイト：<https://oikura.jp/lg/>

マーケットエンタープライズ ウェブサイト：<https://www.marketenterprise.co.jp/>

【報道関係者からのお問合せ先】

仙台市に関すること

仙台市 環境局 家庭ごみ減量課

担当：金久保、南部

Tel:022-214-8225

「おいくら」に関すること

株式会社マーケットエンタープライズ

PR担当：橋本

Tel:03-6675-3923 Mail：pr@marketenterprise.co.jp